

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	防犯カメラ維持管理事業
事業実施前の状況	29年度に神田消防分団近辺・脇塚の中国道下の地下道に防犯カメラを2台設置 合計3台の維持管理が必要。
事業実施後の状況	3台のカメラについては、30年度も保守点検等の 維持管理(電気料含む)費用が発生。
事業の効果	防犯カメラの映像がキチンとみれるようになった。 事故抑止効果が期待できる。
今後の課題	事故抑止効果をさらに高めるため、「防犯カメラ作動中」看板を大きくする ことが必要。(ドライバーからもよく見えるように)

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	地域内会館設備改修事業
事業実施前の状況	神田会館の庭に設置された遊具が老朽化、子供が使えなくなっている。
事業実施後の状況	老朽化した遊具を除去、跡地の整備をして新たに幼児向けの遊具を設置した。
事業の効果	幼児を連れた親子連れの利用が増加している。
今後の課題	夏場における遊具のやけど対策が必要。

平成31年5月29日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	道路安全対策事業
事業実施前の状況	神田1丁目19-9 リビエールハイツ北西のY字道路の角にカーブミラーが無く、歩行者・車とも出合い頭の事故の危険性があった。
事業実施後の状況	カーブミラーが設置された。
事業の効果	歩行者・車ともに安全性が確保できた。
今後の課題	他にも同様な危険場所がないか点検が必要。。

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	街路灯強化事業
事業実施前の状況	街路灯不足・照度不足が多く指摘されていた。 (放火事件発生を受けた自主防災会・消防団による夜間パトロールで指摘)
事業実施後の状況	20年度に町会・自治会から要望のあったものを中心に、 街路灯新設・照度アップを実施、校区内の夜間が明るくなった。 維持費も発生。
事業の効果	校区内の夜間が明るくなったことにより、放火等への牽制効果 が出ていると思われる。
今後の課題	町会・自治会組織の無い地域の街路灯強化が必要。 継続して街路灯設置要望を受け付けるようPRも必要。 農地隣接の場所等に設置する場合は、高さ・向き等の調整が必要。 私有地に設置の場合地主の承諾書が必要となったが、地主をどのように 調査するか検討が必要。

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	神田小学校開放委員会支援事業
事業実施前の状況	神田小学校体育館のバレーボール用支柱・ネットが老朽化、活動に支障がある。
事業実施後の状況	新たにバレーボール用支柱・ネットを設置。
事業の効果	地域内の人々と子供たちが安全で使いやすい備品を使用できるようになった。
今後の課題	開放委員会の他の用具の点検も必要。

平成31年5月29日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	市民レクリエーション大会事業
事業実施前の状況	神田小学校区住民運動会が、地域の寄付・市からの定額支援で実施されており、予算不足を盆踊り収益等でカバーしていた。
事業実施後の状況	市からの定額支援より多くの金額の支援ができた。
事業の効果	地域行事の活性化が図れた。
今後の課題	毎年、助成必要金額の検証が必要。

平成31年5月29日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	広報紙発行事業
事業実施前の状況	事務費予算の範囲内で年1回発行。(白黒印刷)
事業実施後の状況	カラー刷りの広報紙を、年3回地域内全戸配布できた。 (22年度以降継続)
事業の効果	各種地域内団体の活動紹介をとりあげることができ、回数もふえたので地域への活動内容のPRができた。
今後の課題	新規協議会メンバー・安全パトロールボランティアを継続して広報紙で募集を続けることが必要。 ワンルームマンション増加への対応が必要。 世帯数増加への対応は常時検討必要。 広報誌への広告掲載もいそいで募集することが必要。

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

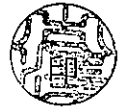
事業の名称	安全パトロール実施事業
事業実施前の状況	PTAによる登校時の見守り活動は通学路を中心に実施されていたが、下校時を含め校区全体の安全パトロール体制がなかった。 H20年度からパトロールを開始することになった。
事業実施後の状況	電動自転車による安全パトロール体制ができ、ボランティアを中心に下校時の校区内安全パトロールが実施された。(平成21年1月以降)平成29年度につづき、継続実施できた。
事業の効果	安全パトロールによる直接の目につく効果はないが、地域住民に少しずつパトロール実施が認識されてきて、防犯意識の向上に役立っている。 また、PRのためパトロール中の肩掛け襷も効果をあげている。
今後の課題	ボランティア人員の確保・増員が必要。 電動用バッテリーの交換が無理とのことなので新規自転車を購入する必要あり。

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	神田地域コミュニティ広報事業
事業実施前の状況	年3回の広報誌が唯一の広報手段であった。
事業実施後の状況	神田地域コミュニティの活動内容や、神田の自然・行事・文化等の写真を使ったカレンダーを作成し、全戸配布した。 30年度も継続実施した。 広告掲載も昨年より増加し4件となった。
事業の効果	神田地域内の写真等を通じて、神田地域のコミュニティ意識の高揚がはかれた。
今後の課題	地域行事・自然等の写真を広く地域住民に公募し、コミュニティ意識の更なる高揚を図ることの検討が必要。 住宅の増加を常にチェックし発行部数の検討が必要。

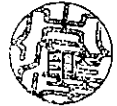
平成31年5月29日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	地域内会館備品運営事業
事業実施前の状況	パソコン・コピー機等がなく不便。(個人の機器の使用・コンビニでのコピー)
事業実施後の状況	ノートパソコン・複写機をリース、書類・パソコン等の保管用の保管庫も購入。
事業の効果	個人の機器の使用もせずすみ、協議会用書類も安くコピーできるようになった。
今後の課題	専用の事務室の設置、併せてファックス用の電話設置が必要。 コピー機も他団体が利用できるように検討が必要。

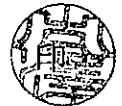
平成31年5月29日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	神田フェスタ開催事業
事業実施前の状況	地域住民の交流・ふれあいの場としては、年1回の盆踊り・運動会のみであった。
事業実施後の状況	30年度も年3回の神田フェスタを開催した。
事業の効果	回を追うごとに参加者も多くなり、次回への期待の声が多くなってきた。
今後の課題	参加者の増加・高齢者が多いということで開催場所の設定がむつかしくなってきた。(神田地区中心部にある民間設備の利用も検討)

平成31年5月29日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	地域行事等活動促進事業
事業実施前の状況	神田小学校区盆踊り大会が、地域の寄付・市からの定額支援で実施されており、出店等の収益で予算不足をカバーしていた。
事業実施後の状況	市からの定額支援より多くの金額の支援ができた。
事業の効果	地域行事の活性化が図れた。 30年度は天候にも恵まれ2日とも実施できた。
今後の課題	令和元年度から行事報奨金への変更した。 今後も継続して支援金額の検討が必要。

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	神田地域花いっぱい運動支援事業
事業実施前の状況	地域内の公園には花が少なく、手入れも不十分であった。
事業実施後の状況	公園3か所に花壇を設置、定期的に花の入れ替え・水やり等ができるようになった。(神田花の会メンバーが対応)
事業の効果	常にきれいな花がみれるようになって利用者から好評を博している。
今後の課題	他の公園他花壇など必要な場所がないか検討が必要。

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	キッズランド用備品購入事業
事業実施前の状況	キッズランドのパソコン教室用備品が不足し、十分な活動ができなかった。
事業実施後の状況	パソコン教室として必要なトナー、用紙類を支援することにした。
事業の効果	パソコン教室事業の充実及び参加者の増加が図れた。。
今後の課題	毎年、備品購入必要金額の検証が必要。